

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:愛知県岡崎市

1. 事業名	OKAZAKIテレワーク推進プロジェクト								
2. 実施期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年1月31日								
3. 事業の趣旨・目的	女性、事業所に対して時間や場所にとらわれないテレワークの支援を行う。女性、事業所にはセミナーを通じテレワークに必要なスキルの習得、試験的なテレワークの体験、そして女性と事業所の双方を結びつけるためのマッチングイベントを行うことで、テレワークを通じた岡崎市ならではの女性就労モデルを構築することを目的とする。								
4. 事業内容	女性及び事業所の意識を改革するため、マインドセットセミナーを実施することでテレワークとの付き合い方や導入にあたっての準備などの理解を深め、女性にはテレワークに必要なスキルアップ、キャリアコンサルによる支援、事業所にはITスキルアップ、労務管理、情報通信環境・セキュリティーに関する支援を行う。そして、女性及び事業所の試験的なテレワークの体験、マッチングイベントを通じテレワークによる働き方の定着化を図る。当市で開催する合同企業説明会及び就労相談会と連携し、テレワークを広く啓発することで、岡崎市ならではの女性就労モデルを構築する。								
5. 事業効果及び効果検証の概要	当市が主催する女性向け合同企業説明会などの就労支援事業にて、参加者及び事業所に対し女性活躍及びテレワークに関するニーズを調査するとともに、岡崎市男女共同参画基本計画の次期計画策定に合わせ、ワーク・ライフ・バランスに関する意識調査を行う。								
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	約3か月にわたり女性と事業所に対しセミナー等を通じテレワークに必要なスキルアップなどを支援した。そして、相互のテレワークによるインターンを活性化することを目的とし、マッチングイベントを1回開催した。その結果、17名の女性、3社の事業所がインターンプログラムに進んだ。また、スキルアップのセミナーには、延べ232名の女性、31社の事業所が参加した。								
7. 今後の課題	テレワークを希望する女性のニーズは高く、本地域における女性就労支援としてテレワークは有効的であることが裏付けされた。一方、事業所を対象とした調査結果では、テレワークの実施事業所は4.9%に留まり、事業所にとってテレワークはハードルが高いことが判明した。テレワークを女性就労モデルとするためには、テレワーク実施事業所の確保及び自営型テレワークを含めた幅広いテレワークの就労スタイルを提示する必要がある。								
8. 事業の実施体制	岡崎市男女共同参画推進審議会構成団体 岡崎商工会議所、岡崎法人会、連合愛知三河中部地域協議会、岡崎信用金庫、あいち三河農業協同組合								
9. 経費の内訳	(単位:円)								
事業番号	個別事業名	公募要領の取組例	予算措置年度	交付決定事業	総事業費(A=B+C+D)	本交付金(B)	他の寄付金等(C)	自己資金(D)	備考
	OKAZAKIテレワーク推進プロジェクト	(1)	31年度当初予算	31年度予算	4,778,340	2,389,000		2,389,340	
	合計				4,778,340	2,389,000	0	2,389,340	
10. 担当者名及び連絡先	所属部署:社会文化部男女共同参画課 女性活躍推進係 氏名:谷川 寛人 電話番号:0564-23-7961 電子メールアドレス:danjo@city.okazaki.lg.jp								
11. 事業実施及び連携工程	様式4-2-1に記載								

注1)「9.経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-1-2と整合性をとって記載してください。

注2)「9.経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2[取組例](1)、(2)、(3)、(4)、(5)から選択してください。

注3)「9.経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「30年度当初予算」、「30年度補正予算」、「31年度当初予算」、「31年度補正予算」のいずれかを記載してください。

注4)「9.経費の内訳」の交付決定事業について、「30年度予算」、「30年度二次補正予算」、「31年度予算」のいずれかを記載してください。

注5)「9.経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。

注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。